

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和3年11月30日



学校だより

12月号

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

TEL 045(902)1821

大きな変化が

校長 鈴木 彰

今、手元に数冊のノートがあります。このノートには、元石川小の教員が書いた校外学習の反省会の記録が書かれています。11月は、4～5年生の西湖宿泊体験学習、1～2年生の管生緑地合同遠足が行われました。



あるノートには、「(西湖での)子どもたちの行動◎」、「事前の並び方指導◎」、「ボランティアの体調も気にしたい」などと記録され、反省会では「1日目の態度について指導したら、2日目の子どもたちの様子が大きく変わり、成果になった。」「室長の努力と思いが全員に伝わって、一体感が生まれた。」などの振り返りの言葉がたくさん出されていました。大学生ボランティアも「たったの2日で子どもがこんなに変わるとは思わず、感動しました。」と校長に話しに来てくれました。

また、教師自身の振り返りもありました。「今回の引率で、私も子どもの指導について、よい勉強になりました。」→『よい勉強になった』と反省するのは、必ずしも良いことではないよね。子どもにとっては1回きりの活動なのだから、私たちは当然、(やり直しがきかない中で)いつでもよい指導ができる教師でなければいけないよね。」という会話が生まれていました。最初の教員のひと言は何気ない「よい振り返り」の言葉だったと思いますが、「まず、そこから意識を変えなければ。」「子どもたちを大切に、第一に考えなければ。」という積極的な意識改革が2年ぶりの宿泊引率から表出したようです。

別のノートには、「(管生緑地では)山内公園にはない物を見つけていて、よかった。」「交通ルールもしっかり守れた。」「実行委員◎ (はじめの会、おわりの会)」などと書かれています。1年生をリードする2年生の表情が、事前の交流遊びなどをする前と比べると、格段に「頼れるお兄さん・お姉さん」に変化しました。1年生は、2年生を信頼しています。「らいねんは、わたしがつれていきたいな。」と、校長室にいる私に話しにきた子もいます。

やはり、行事は子どもの成長に大きな力を与えるのだと再認識した11月でした。たった半日の遠足で、たった1泊の体験学習で、子どもの目の輝きが変わります。そんな変化を感じることができた私自身も幸せだと思いました。

去年は、宿泊行事はできませんでした。感染者数が減ってきたとはいえ、今年も心配な状況は変わりません。そんな中で、「何とか実施して成功させたい」という子どもの思い、教師の思い、保護者の思い、そして心配しながらも理解し、協力し、送り出していただいた家庭のあたたかさが広く深く大きく集まり、成功に至ったのだと思います。

まだまったく予断は許さない毎日です。安心と安全を最優先に、でも子どもを大きく成長させたいという思いを強くもって、学校生活を創っていきたいと思います。皆様、これからもよろしくお願ひいたします。